

4月に実施した「全国学力・学習状況調査」(6年対象)について全職員で採点・分析を行いました。本校としての分析結果と対策についてお知らせします。子供たちの学力の向上と学習習慣の改善に一層取り組んで参ります。なお、この分析は本校の傾向であり、特に学力調査については、学力の一部を測定したものです。全ての学力を表したものではありません。

### 1. 全国学力・学習状況調査(6年対象)の分析と対策

【全国学力調査の結果(正答率)】 ※全国平均と比較した場合(高い◎ 同程度○ やや低い△ 低い▲)

	国語(14問)	算数(16問)
本校	○	○
袋井市	△	▲
静岡県	○	○

【無回答率(袋井市抽出問題)】

国語	設問「2二」	設問「3三」
本校	4.2%	14.6%
袋井市	6.1%	17.8%
全国	4.9%	12.6%

算数	設問「2(1)」	設問「3(4)」	設問「4(3)」	設問「5(3)」
本校	1.1%	0%	2.1%	10.5%
袋井市	3.8%	3.4%	5.0%	16.6%
全国	3.4%	1.8%	2.4%	12.6%

【分析と今後の対策】

国 語	算 数
<p>◎全体の正答率は全国平均とほぼ同程度です。</p> <p>◎全体的に無回答率が低いです。</p> <p>◎漢字の読み書きや、基本的な文章の書き方等の「知識及び技能」についての正答率が高いです。</p> <p>▲話すことや読むこと等の思考力・判断力・表現力についての正答率が低く、無回答率も高いです。</p> <p>→国語の授業だけでなく、話す力、聞く力・書く力の向上のために、授業の中での対話の場面や子供が自分の言葉で、「今日分かったことや学んだこと」を書く時間を設けていきます。</p> <p>☆低学年の頃から、御家庭で基礎学力の定着を習慣付けていただいたことが、確実に力となって表れています。引き続き御協力をお願いします。</p> <p>☆授業で取り組んでいる「自分の言葉で書く」という意識付けにより、文章を書くことへの抵抗感を下げていると言えます。引き続き、授業を通して力を高めていきます。</p>	<p>◎全体の正答率は全国平均とほぼ同程度です。</p> <p>◎全体的に無回答率が低いです。</p> <p>◎基本的な計算問題についての正答率が、全国平均とほぼ同じです。</p> <p>▲「図形」や「変化と関係」について、無回答率は全国とほぼ同じですが、正答率が低いです。</p> <p>→図形の展開図や、道のりや速さを求める問題等の基礎的な知識・技能について、反復練習や AIドリルの類似問題を活用して確実な定着を図っていきます。</p> <p>☆基礎的な計算力についての力が確実に身に付いています。苦手な分野についても力を付けていけるよう、引き続き御協力ください。</p> <p>☆発展的な問題に対して、あきらめずに最後まで取り組もうとする気持ちが育っています。努力を認めながら、正しく答えを導くことができるよう、支援をしていきます。</p>

【学習状況調査（児童質問紙）】

全国と比べて「よく当てはまる」（最上位回答）の回答率高かった主な項目	本校	全国比
授業で、PC、タブレットなどの ICT 機器を活用した。	40.2	+14.9
英語の授業が好き。	50.5	+12.3
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	45.4	+8.9
授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだか。	36.1	+6.6
国語の授業で、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。	43.3	+6.2
全国と比べて肯定率が低かった主な項目	本校	全国比
学級生活を良くするために学級会で話し合い解決方法を決めている。	19.6	-16.7
タブレットを使うと楽しみながら学習を進めることができる。	34.0	-12.9
算数の授業内容がよく分かる。	33.0	-11.9
国語の授業内容がよく分かる。	28.9	-10.3

【分析と今後の対策】

- ◎課題解決場面や、自分の考えを発表する場面において、効果的にタブレットを活用することで、本校の目指す「主体的」な児童の姿に結びついています。
- ◎英語専科教員による、教科担任制の授業が児童の意欲や学力の向上につながっています。
- ◎家庭や地域の一員としての意識を高くもち誰かのために働こうという思いが育っています。
- ▲みんなで何かについて話し合うという経験が少ない傾向があります。
- ▲タブレットのさらなる効果的な活用方法について検討をしていこうと思います。
- ▲国語や算数だけでなく、教科全般における基礎学力の向上が求められています。
- 運動会を初めとした大きな行事では、これまでの教師主導の形から、少しずつ子供に任せる場面を多くしていく予定です。その中で、子供たちが、自ら考え、意見を出し合いながら、お互いに成長していけると良いと思います。
- 基礎学力の向上に関しては、教員の授業力向上を図ると共に、現在試験的に導入されている AI ドリルの効果的な活用方法について、学校と保護者が協力しながら考えていけると良いと思います。

【まとめ】

平均正答率は、全国平均とほぼ同等であり、何よりも無回答率が全体的に低いことから、子供たちに粘り強く学習に取り組もうとする姿勢があることが分かりました。

また、人の役に立ちたいと考える児童が多く、良い人間関係をつくるための基礎が養われていると言えます。各家庭で日頃から、お子さんの良さを認め励ます声掛けをしてくださっていることで、子供の自己肯定感が高まっていることが、この結果につながっているとも言えます。

今後は、課題を改善し、より本校の児童の良さがさらに発揮できるようにしていこうと思います。